

前代未聞の 税金づかい

日本共産党
杉並区議団ニュース

No.354 2015年12月号

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 区議会内
日本共産党杉並区議団
TEL03-3312-2111
内線(2319)

新築! 費用30億円以上!
機能はほぼ同じで
荻窪駅から徒歩10分

廃止! 築10年
建設費28億円
荻窪駅から徒歩2分

あんさんぶる荻窪



あんさんぶる荻窪



新「庁舎棟」

新「庁舎棟」イメージ

10年前に28億円もの建設費をかけて建てた複合施設「あんさんぶる荻窪」を廃止し、新たに30億円以上もかけて同様の施設を建設するという前代未聞の計画が進行中です。住民からは地域破壊と税金のムダづかいに怒りの声があがっています。



財産交換の方針は議会や住民にも相談なく、マスコミに発表されました(朝日新聞2013年11月14日付)

トップダウンで「財産交換」発表!

2013年田中区长は突然、区の複合施設「あんさんぶる荻窪」と、天沼地域の「荻窪税務署」及び「国家公務員宿舎」の跡地とを財産交換すると発表しました。あんさんぶる荻窪を国に渡し、二つの国有地を取得すれば6300㎡の土地を取得できるということです。その用地を使って「地域包括ケアのバックアップ機能」を備えた新しい「庁舎棟」建設と、「喫緊の課題である」200床規模の特別養護老人ホームを建設するとしています。

しかし、これによって駅に近く、多くの区民が利用するあんさんぶる荻窪が廃止され、駅から10分の地域に30億円以上もかけてほぼ同じ施設が新築されます。さらに特養ホーム整備も5年以上かかる上に高くつくというずさんな計画になっているのです。



影響で荻窪北 児童館が廃止!

荻窪だけの
問題じゃない?!

あんさんぶる荻窪内には、年間延べ7万2千人の児童が利用する荻窪北児童館があり、公園や児童の遊び場が少ない荻窪南側地域にとって重要な役割を果たしています。この児童館も財産交換で廃止されます。区は児童館のもっている機能は他所に移すといいますが、保健センターの一部のスペースや学校の片隅に子どもたちをバラバラに押し込めるもので、質の低下は免れません。区は現在、全区的に児童館廃止方針を出しつつ、「質の低下はない」と強弁していますが、荻窪北児童館をみれば結果は明らかです。



広がる!

町をあげての反対運動

地域では財産交換方針について説明会を求めています。区長はかたくなに拒否。「もう決まったこと」と庁舎棟の建設をこり押ししています。あんさんぶる荻窪を守るため、とうとう町会の人達や児童館を利用するママやパパ、子どもたちが手作りのポスターを貼り出し、商店街の入り口に大きな横断幕まで掲げる運動になっています。